



のがわ

ちいき がっこう 地域とともにある学校をめざして

こうちょう こいずみ まさかず
校長 小泉 昌和

しんねんどがはじまり、はや1ヶ月が経とうとしています。新しい環境にすっかり慣れ、弾けるように学校生活を送る子、まだ周りを注意深く観察しながら学校生活を送る子、様々な顔をのぞかせている子供たちです。時間的な早い遅いに優劣はなく、どの子もそれぞれが自分らしさを発揮していることが大切です。一人一人のペースを尊重しながら、この時期の子供たちを見守りたいものです。

さて、4月21日(火)に、今年度初めての学校運営協議会が開催されました。学校運営協議会は、地域でどのような子供たちを育てていくか、何を実現していくのかをいう目標やビジョンを共有し、地域一体となって子供たちを育むというねらいのもと立ち上げられた制度です。いわゆるコミュニティスクールです。市内すべての学校で、この制度のもと、学校運営がなされています。

当日は、学校経営方針や年間行事予定等をお伝えさせていただきました。その後、休み時間の子供たちの様子や授業を参観していただき、学校運営方針や学校の様子についてご意見を伺いました。以前に比べると子供たちの休み時間の過ごし方がだいぶ変わってきていること、授業は、どのクラスも落ち着いて学習に取り組んでいること、代表委員会で自分たちの学校生活の課題を考えられていることは良いことであるなど、お褒めのお言葉をたくさんいただきました。良い点については継続できるように引き続き声かけをしていきます。

地域に開かれた学校づくり(いわゆるコミュニティスクール制度)が提唱され、正式に法制化されたのは平成16年です。今から20年も前となります。令和となり、この「開かれた学校づくり」は「地域とともにある学校」へと変わっていくことが大切であると言われるようになりました。予測困難な時代を生き抜いていく力を身に付けるには、学校と地域とが一体となって子供たちを育てていこうという理念のもとです。

そのために市内の各学校では、地域にある学習材(人・場所・もの)を見直し、きちんとカリキュラムに位置付けていこうと工夫がなされてきました。その活動を通して、子供たちの情報収集能力であったり人とのかかわり方であったりを身に付けられるように、授業の進め方などについても工夫がされているところです。

わが野川小学校の地域にも特色のある学習材がたくさんあります。それぞれの学年の子供たちに必要な力とは何か、それを身に付けるにはどんな授業展開が必要なのか、今一度、地域の学習材を見直してみたいと思います。

学校運営協議会の皆様をはじめ、保護者の方々、地域の方々、今後も引き続き、ご支援・ご協力のほど、よろしく願いいたします。

★学校経営方針及びいじめ防止基本方針についてHPにアップしますので、ご覧になってください。何かご質問等がございましたら、お気軽にご連絡ください。